

山田町農業委員会

全国農業会議所会長賞を受賞

耕作放棄地解消に取り組む

全国農業会議所がこのほど実施した「第2回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰」で、山田町農業委員会（阿部勲会長・委員15人）が全国農業会議所会長賞を受賞しました。4年前から行ってきた耕作放棄地の発生防止や解消のための取り組みに対し贈られたものです。

同委員会は、町内の耕作放棄地解消への取り組みの一環として豊間根地区でソバを栽培してきました。作業は、子供たちと農業の大切さを理解してもらおうと地域の小学生児童や保育園



そば打ち体験を楽しむ児童園児たち（昨年の様子）



会長賞を受け取る阿部会長

児らと一緒に実施。種まきから花の観察会、収穫作業までを行い、作る喜びを伝えてきました。また、収穫後にはそば打ち体験と試食会も開き、子供たちの食育にも取り組みながら耕作放棄地の有効活用に貢献しています。表彰式は5月27日に東京都の日々谷公会堂で行われ、同委員会の阿部会長と木村良一職務代理が出席。これまでの功績をたたえ表彰状が授与されました。阿部会長は「これまでの取り組みが評価されてうれしい。受賞は委員会のみならず協力いただいた皆さん一人一人の活動の賜物。これからも耕作放棄地の解消に向け尽力したい」と決意を新たにしています。

岩手県体育協会功労賞

織笠さんの功績をたたえる

境田町の織笠智安さん（74）が、地域におけるスポーツの普及と振興に貢献した方に贈られる財団法人岩手県体育協会功労賞を受賞しました。

織笠さんは、



織笠 智安さん

町卓球協会に入会して以来、30年以上にわたり小・中学生や高校生の指導にあたるとともに、同協会の運営に積極的に携わるなど、常に指導者の先頭に立ち卓球の発展のみならず青少年の健全育成にも尽力してきました。織笠さんは「これまでの活動が評価されてうれしい」と受賞を喜びました。

野生生物保護功労者表彰

鳥獣保護員の佐々木さんに栄誉

愛鳥週間（5月10～16日）に合わせ行われた環境省の「野生生物保護功労者表彰」で、川向町の佐々木實行さん（60）が環境省自然環境局長感謝状を受賞しました。これは、県鳥獣保護員として平成7年から約15年間にわたり、野生生物や傷病鳥獣の保護、鳥獣保護区などの見回り、鳥獣の調査協力などに尽力されたことが評価されたものです。



佐々木 實行さん

受賞した佐々木さんは「長年の活動が認められてうれしい。受賞できたのは猟友会の皆さんの協力があったとのこと。これからも森の番人として頑張りたい」と話していました。